

## Point 第三部の特徴

**第三部の授業は午前中のみ。午後はアルバイトやボランティア活動など、自分の時間として活用。**

午前中のみ授業を受け、午後は保育園等でのアルバイトやボランティア活動、ピアノレッスンなどに時間を充てることが可能です。(教育実習・保育実習および特別授業については、午後の履修もあります)

**第一部より割安の学費だから、経済的負担が少ない。**

第三部は3年間を通じての授業料が割安(第一部2年間の約70%)です。講義のない午後の時間を生かし、動くこともできるので、学費の面で無理なく学ぶことができます。

**学びの環境も内容も第一部と同じ。**

音楽や造形などの施設・設備、実際の保育室などの演習施設が充実。保育実習・教育実習も第一部と同じで「保育士資格」「幼稚園教諭二種免許状」を取得することができます。

### 1年次

#### 保育者・教育者としての基礎を築く

保育や教育の原理から、子どもの発達や保健、音楽や体育など基本的な技能まで、保育者・教育者の基礎を固めます。

### 2年次

#### 保育者・教育者としての専門的知識・技能を修得する

学外実習に備え、子どもの心理や乳児・障がい児などの知識を得て、保育者・教育者への学びを進展させます。

### 3年次

#### 学外実習を通して実践力を修得する

保育所や福祉施設、幼稚園で保育・教育実習を行い、子どもたちと直接触れ合うことで実践力や自信を身につけます。

保育学科 専門科目群	1年次	2年次	3年次
	[福祉の理論] ■ 子ども家庭福祉 ■ 社会福祉 [こころとからだの発達・健康] ■ 子どもの保健 ■ 子どもの健康と安全 <b>授業Pick up ②</b> [保育と教育の理論] ■ 保育原理 ■ 保育内容総論 ■ 社会的養護1 ■ 教育の原理と制度 ■ 保育者・教育者論 [保育と教育の内容・技術] ■ 保育内容演習(健康) ■ 保育内容演習(環境) ■ 保育内容演習(言葉) ■ 保育内容の演習(人間関係) ■ 保育内容の理解と方法(音楽) <b>授業Pick up ⑤</b> ■ 保育者養成基礎講座	[福祉の理論] ■ 障がい児心理学 [こころとからだの発達・健康] ■ 子どもの心理学 <b>授業Pick up ①</b> ■ 子ども家庭支援の心理学 ■ 教育相談(カウンセリングを含む) [保育と教育の理論] ■ 社会的養護2 [保育と教育の内容・技術] ■ 乳児保育1・2 ■ 障がい児保育1・2 ■ 特別支援保育・教育の基礎 ■ 保育内容演習(表現1) ■ 保育内容の理解と方法(造形) <b>授業Pick up ④</b> ■ 保育内容の理解と方法(身体) <b>授業Pick up ⑥</b> ■ 保育内容の理解と方法(言語) ■ 保育者養成発展講座 ■ 歌とピアノの技術 [保育と教育の実践] ■ 保育実習指導1A <b>授業Pick up ③</b> ■ 保育実習1A ■ 教育実習指導1	[福祉の理論] ■ 地域福祉論 ■ 子ども家庭支援論 [こころとからだの発達・健康] ■ 子どもの食と栄養1・2 ■ 子ども理解の理論と方法 [保育と教育の理論] ■ 保育・教育課程論 ■ 教育の方法と技術 [保育と教育の内容・技術] ■ 保育内容演習(表現2) ■ 子どもの健康・人間関係・言葉 ■ 子どもの環境 ■ 保育者養成実践講座 ■ 保育・教職実践演習(幼稚園) ■ 子育て支援 ■ <b>総合表現演習</b> <b>詳細はP86へ</b> ■ 子どもの遊びと音楽 [保育と教育の実践] ■ 保育実習指導1B <b>授業Pick up ③</b> ■ 保育実習1B ■ 保育実習指導2 ■ 保育実習2 ■ 教育実習指導2 ■ 教育実習

■は必須科目、■は選択科目。カリキュラムは変更する場合があります。

### ④ 保育内容の理解と方法(造形)



造形表現活動に必要な感性や創造力・実践力を養います。

さまざまな素材や道具に触れながら、造形表現について考えます。保育実践に必要な知識や技術・技法を身につけ、模擬保育などを行いながら、子どもの表現活動を支えるための感性や創造力を高めます。

### ⑤ 保育内容の理解と方法(音楽)



歌う楽しさを伝える弾き歌いのスキルを磨きます。

子どもの歌に関する知識と技術を習得するとともに、子どもの前で歌うことを想定して、音楽の楽しさを伝えられるような指導法を学びます。弾き歌いやピアノ技術の習得は個人指導で行われ、初心者でも心配なくスキル向上できます。

### ⑥ 保育内容の理解と方法(身体)



乳幼児期だからこそ楽しめる身体表現の指導について学びます。

動物になったり、リズムに乗って踊ったり、乳幼児期はその子らしさを身体の動きで豊かに発揮します。保育者がその豊かさを子ども一人一人の良さとして引き出していく内容・方法を具体的に学び、身につけます。